

平成25年度 事務事業評価調査〔ソフト事業〕

事務事業コード

13331006

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名

身体障害者自動車燃料費助成事業

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|--|
| 章 | 1 | やさしさと共生するまち |
| 節 | 3 | 誰もが安心して暮らせるまちをつくる |
| 施策 | 3 | 障がい者福祉の確立 |
| 小分類 | 3 | 障がい者の社会参加の促進 |
| 主要な施策 | 1 | ①障がい者団体の自主的活動支援 |
| 事務事業番号 | 006 | 事業開始年度 昭和 56 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-------|-------|----------|
| 部 名 | 保健福祉部 | グループ名 | 障害福祉グループ |
|-----|-------|-------|----------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

| | |
|----------|--|
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | 身体障がい者の自動車利用に係る燃料費の経済的負担を軽減することにより、身体障がい者の自立更生と社会参加を促進し、障がい福祉の向上を図ることを目的とする。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) |
| | 身体障害者福祉法に基づき車椅子を受給している障がい者等で、免税購入資格者として自動車を購入した方を対象に、月30リットル分を限度に自動車燃料費の税相当分を助成した。 【支給実績】 支給対象者数 24名 |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 今後も対象者の自立更生と社会参加促進及び経済的負担の軽減を図るため、自家用自動車燃料費の税相当分を月30リットルまで助成し支援する。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | 登別市身体障害者自動車燃料費助成事業実施要綱 |

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

| 区分 | | 単位 | H23年度 決算 | H24年度 決算 | H25年度 当初予算 | H26年度 見込 | H27年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | 451 | 444 | 523 | 523 | 523 |
| 事業費 合計 | | | 451 | 444 | 523 | 523 | 523 |

指標の推移

《Check》

| 区分 | | 単位 | 区分 | 23年度 実績 | 24年度 実績 | 25年度 目標 | 26年度 目標 | 27年度 目標 |
|----------|--------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | ① 助成件数 | 件 | 目標値 | 30 | 29 | 27 | 27 | 27 |
| | | | 実績値 | 26 | 24 | | | |
| | ② | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

| 比較 | | 《Check》 |
|---|--|---------|
| 平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等 | 左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等 | |
| タクシーの利用が難しい車いす利用者が重度障害者（児）福祉タクシー事業で交付するタクシーチケットを利用できずに、自家用車等で自立更生と社会参加を行っていた。 | 身体障がい者の自動車利用に係る燃料費の経済的負担を軽減することにより、身体障がい者の自立更生と社会参加を促進し、障がい福祉の向上を図ることができた。 | |

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|-----------------------------------|--------------------------|--------------------------|---|
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> | ① 市が主体に行うべき事業である | 判断理由及びその他所見 身体障がい者の自立更生と社会参加促進に必要な事業であり、市が行うことは妥当である。 |
| | <input type="checkbox"/> | ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である | |
| | <input type="checkbox"/> | ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である | |
| | <input type="checkbox"/> | ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している | |
| 2. 事務事業の必要性について | | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | <input type="radio"/> | ① 市民、団体等から具体的な要望がある | 判断理由及びその他所見 重度障害者（児）福祉タクシー事業のタクシーチケットの利用ができない障がい児・者に、自動車燃料費の経済的負担軽減は妥当と判断する。 |
| | <input type="checkbox"/> | ② 市民アンケートの結果から必要性が高い | |
| | <input type="checkbox"/> | ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い | |
| | <input type="checkbox"/> | ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い | |
| 3. 事務事業の効率性について | | | |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | <input type="checkbox"/> | ① 低予算、少労力で高い効果をあげている | 判断理由及びその他所見 重度障がい児・者の生活圏拡大と経済的負担軽減を図り、障がい児・者の自立更生等に寄与する助成事業であるため、経費がかかることはやむを得ないと判断する。 |
| | <input type="checkbox"/> | ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い | |
| | <input type="radio"/> | ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない | |
| | <input type="checkbox"/> | ④ 将来的に効率性を向上できる | |
| 4. 事務事業の成果について | | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | <input type="checkbox"/> | ① 成果指標の向上が見られる | 判断理由及びその他所見 自動車燃料費の経済的負担を軽減することにより、重度障がい児・者の生活圏拡大を支援し、障がい福祉の向上を図ることができたと判断する。 |
| | <input type="radio"/> | ② 市民、団体等の声から成果を感じられる | |
| | <input type="checkbox"/> | ③ 目に見える形で成果があがっている | |
| | <input type="checkbox"/> | ④ 成果の把握は困難である | |

①担当グループによる評価 《Check》

| | | |
|-----------|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 身体障害者の生活圏拡大と経済的負担軽減が図られることから、障がい児・者の自立更生等に必要な事業である。 |
|-----------|----------------------|---|

②行政評価会議による評価 《Check》

| | | |
|-----------|----|---|
| 改善 | 備考 | タクシーチケット配付対象者に対するアンケート調査結果を踏まえて、重度障害者（児）福祉タクシー事業との統合も視野に入れ、事業内容について関係団体と協議を進めること。 |
|-----------|----|---|